

通商局

公第一八三號

昭和十年六月廿二日

在暹羅國

東亞局長

特命全權公使 矢田 部 保

通商第一課長

外務大臣 廣田 弘 毅 殿

類三 通商局第一課長

臺灣總督府熱帶產業調查會
設置ニ關スル件

通二 10.7.16 交付

通商三課長

昭和拾年七月拾貳日接受

東亞局 10.7.20 第二課

改定(毛根)
書の案
及之下

臺灣總督府ニ於テハ今般臺灣ト南支南洋間ノ緊密ナル關係ヲ保持
シ相互ノ貿易ノ進展ヲ圖ル目的ヲ以テ熱帶產業調查會ヲ新設シ廣
ク臺灣、内地、南支、南洋各方面ニ於ケル有力者ノ援助ノ下ニ其
ノ事業ヲ進行スルコトナリタル由ニテ右ニ關スル在臺北三井物
産會社支店長報告寫當地同會社出張所長ヨリ内覽ニ供シ來リタリ

通商局第一課長

本件調査會ノ目的ハ冒頭所述ノ通ナル處其ノ調査ノ實施並ニ調査ノ
結果タル事業ノ遂行ニ關シテハ自然當該方面在外公館ト何等關係ヲ
生スルコトアルヘク現ニ同調査會ハ南支南洋各地ニ於ケル在留邦人
ノ健全ナル發展ヲ遂ケシムル様之ヲ援助スルト共ニ邦人ノ海外發展
ニ付一段ノ考慮ヲ拂フコトヲ以テ其ノ調査方針ノ一トナシ居ルコト
別紙寫ニ就キ貴覽可有之通ナリ
本件ニ付テハ既ニ總督府其他ノ方面ヨリ報道御入手濟カトモ存スル
モ爲念右報告申進ス

本信寫送付先

在福州、厦門、汕頭、廣東、香港、河内、西貢、新嘉坡、巴
多比亞、スラバヤ、マダシ、マニラ、ダバオ各總領事及領

事

E-1603



寫 查業課 營業部 船舶部 香港 廣東 厦門
マニラ 新嘉坡 盤谷 泗水 各長殿

(通記)

昭和十年五月卅日

業務課長殿

臺北支店長



臺灣總督府熱帶産業調査會設置ノ事

本件ニ就テハ既ニ新聞紙上ニ於テモ發表セラレ居候處 昨夜平塚總務長官ヨリ長官々邸ヘ三井 三菱 近郵 商船支店長 外一名 華南銀行支配人 外一名 外總督府事務官五名招待セラレ 親シク長官ヨリ調査會設置ノ發表並ニ民間側ニ於テモ援助セラレ度キ旨御挨拶相受ケ候

調査會設置ノ趣意規模並ニ調査方針ハ別紙ノ通りニ有之 御高覽破下度候 要スルニ拓務省ノ所謂南方經營ニ出發致居リ 委任統治諸島ハ拓務省ニ於テ直轄スル事トナリ 南支 南洋ハ臺灣總督府ニ於テ其任ニ當ル事トナリタル由ニ候 本會ノ名目ハ熱帶産業調査會ト稱スルモ實質的ニ云ハハ今後ノ日本カ南方ニ着眼シテ其進展ヲ期ス

ルニアルモ 國際關係上之ヲ熱帶産業ト稱スル方得策ナル可シトノ見地ヨリ如斯命令サレタル由ニ候 調査ノ目的ハ臺灣ト南洋トノ經濟關係ヲ主トスルモノニシテ軍事上ノ意義ハ全然無キ由ナルモ其委員ニハ軍人モ指名セラレル可ク附帶的ニ其方面ノ資料トナル事モアランカトノ事ニ候 本會ノ本旨ハ臺灣ノ利益ヲ主眼トスヘキモ南支南洋ニ於ケル利權開發並ニ在留邦人發展ヲ援助スル處迄進行シ度シトノ事ニ候 次ニ調査其ノモノニ相當ノ經費ヲ要スルノミナラス 各種施設並ニ援助等ニ追々ト相當ナル財源ヲ要スルモノニシテ之ニ對シテハ今差向多大ノ經費ヲ用意セサルモ追々ト豫算ニ編成スル處迄行カネハナラヌトノ事ニ候 本會ノ委員ハ五十人以内ト規程セラレ居リ 之ハ本島ニ限ラス廣ク内地 南支 南洋各方面ニ於ケル有力者ヲ網羅シテ援助ヲ願フ積リニシテ 日下上京中ノ中川總督歸島ノ上發表セララル可シトノ事ニ候 規程ニアル如ク會長ハ總督 副會長ハ總務長官ニシテ幹事長ハ殖産局長カ其任ニ當ル趣ニ候 昨夜ハ長官ヨリ全般的趣旨ヲ述ヘラレ援助方希望ノ挨拶ニ過キサリ

シモ 委員囑託ノ發表ヲ見 調査會ノ方針ニ從ツテ着々其事業を進行スルニ至ラハ 委員中特ニ當社ノ如ク南支南洋ヲ廣範圍ニ亘ツテ活動シツツアルモノニ對シテハ相當調査報告 意見ノ發表 各地ニ於ケル交渉等ノ用向ヲ申付ケラルル事ト被存候 其都度當方ヨリ何かト關係御店ノ御盡力ヲ願出ツル事可有之 其節ハ宜敷御配慮願上候

右不取敢御報告迄

勿々

臺灣總督府熱帶産業調査會設置趣意書

本島ハ帝國南方ノ要衝ニシテ一衣帶水隣邦中華民國ニ相對シ南方ニハハ比律賓 ボルネオ 佛領印度支那 シヤム シヤバ スマトラ等ノ友邦又ハ友邦殖民地ト相接シ有形ニ無形ニ相關涉スル處極メテ多キモノアリ 此ノ地理的地位ニ鑑ミ本島産業ノ開發ニ更ニ一役ノ努力ヲ拂フト共ニ之等南支南洋地方ト經濟上一層密接ナル關係ヲ保持シ其ノ貿易ノ進展ヲ圖リ相互慶福ノ増進ヲ期スルハ正ニ本島ノ使命ナリトス

本府ハ茲ニ鑑ミル所アリ 茲ニ昭和五年臨時産業調査會ヲ開催シ島内諸産業ニ關シ其ノ嚮フヘキ所ヲ明ニスルヲ得タルカ今般更ニ熱帶産業調査會ヲ設置シテ各方面ノ權威者ヲ委員トシ南支南洋地方トノ貿易其他各般ノ事項ニ付檢討ヲ重ネ産業 交通 文化等各方面ニ亘リテ將來益々之カ進展ヲ圖リ依テ隣保共榮ノ實ヲ擧ケ帝國々運ノ隆ニ資スル所アランコトヲ期ス

臺灣總督府熱帶產業調查會規程

第一條 臺灣總督府熱帶產業調查會（以下單ニ調査會ト稱ス）ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ本島ト南支南洋間ノ緊密ナル關係ヲ保持シ相互ノ貿易ノ進展ヲ圖ランカ爲必要ナル諸般ノ重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ事項ニ關シ臺灣總督ニ意見ヲ提出スルコトヲ得

第二條 調査會ハ會長一人 副會長一人及委員五十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ臺灣總督 副會長ハ臺灣總督府總務長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命シ又ハ囑託ス

第四條 會長ハ一務ヲ總理シ會議ノ結果ヲ臺灣總督ニ具申ス
會長事故アルトキハ副會長其ノ職務ヲ代理ス

第五條 會長ハ審議ヲ以テ委員ノ意見ヲ徵スルコトヲ得

第六條 臺灣總督ハ必要ニ應ジ臺灣總督府部内ノ官吏又ハ適當ト

認ムル者ヲシテ會議ニ出席セシメ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第七條 調査會ニ幹事ヲ置キ關係各廳高等官ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命シ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第八條 調査會ニ書記ヲ置キ臺灣總督府部内職員ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

調査方針

一、本調査ニ於テ南支トハ揚子江以南ノ中華民國（主トシテ廣東、廣
東、廣西ノ三省）香港及澳門ヲ南洋トハフィリッピン、ボルネ
オ、蘭領印度、佛領印度支那、シヤム、英領馬來ヲ指稱ス。但シ
調査上必要アルトキハ其他ノ地域ニ及フコトアルヘシ。

二、本調査ニ於テハ努メテ各地ニ於ケル諸般ノ具體的事情ヲ調査研究
之ト本島トノ關係ヲ明ニシ附隨的ニ内地其他ノ地域トノ關係ニ及
フ。

三、本調査會ニ關シ曩ニ昭和五年臨時産業調査會ニ於テ決定セル産業
計畫要項ハ可成之ヲ利用スルモノトス。

四、本島産業ノ現状ニ鑑ミ南支南洋ノ資源ヲ對象トスル工業ノ振興ヲ
目的トシテ調査ヲ爲スモノトス。

五、本島、南支南洋間ノ貿易ヲ進展ヲ圖リ之等地方ニ對スル輸出ノ促
進方法ニ付調査ヲ爲スモノトス。

六、本島、南支南洋間ノ連絡線ニ交通、運輸、金融等ニ關スル對策ヲ

考究スルモノトス

七、南支南洋各地ニ於ケル在留邦人ノ健全ナル發展ヲ遂ゲシムル様
之ヲ援助スルト共ニ邦人ノ海外發展ニ付一段ノ考慮ヲ拂ヒ調査
ヲ爲スモノトス。

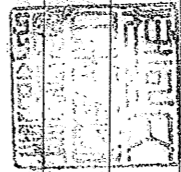
通商局

公第百一十七號

昭和十年八月六日

在河内

總領事 宗村丑生



外務大臣 廣田弘毅 殿

台湾總督府依頼調査事項中「印度支那棉」関スル
回報寫送付ノ件

台湾總督府ヨリ調査依頼ノ係ル事項中「印支棉」関スル
分別紙寫ノ通り回報シ置キタル付其寫御參考迄別添送
付ス

在河内日本總領事館

豊村者

切
田
元

諸第三三號

昭和十年八月六日

在河内

總領事 宗村丑生

台湾總督府在河内支友一平塚廣義 殿

印度支那棉ノ関スル回報送付ノ件

本年五月三十日附紙紙力四八九號ヲ以テ依頼ノ調査事項中
「棉」ノ其ノ分別紙寫ノ通り回報ス
者亦併々増補追加シテ了スヘシ

在河内日本總領事館

E-1603

印度支那棉花の調査

印度支那棉花の栽培は數百年以前より土人ノ手により行はれて居り係じ又ノ栽培の組織的トナリしハ佛島西ノ占領以後ノ爲ス栽培當初ノ目的ハ印度支那棉花ヲ原料トシ佛島西技術ヲ以テ主トシテ支那大衆向ノ綿製品ヲ製造スルニ在リ係レ佛島西ニ於ケル綿工業ノ發達ニ伴ヒ印度支那カ其ノ製法ノ隸屬的捌ハトナリシ爲前記棉花栽培ノ目的トナリル格ヲ未ダシ其栽培ハ竹期ノ發達ヲ遂ケ得サリキ斯レノ情ノ下ニ印度支那ノ棉花栽培ハ不振ノ状態ニ在リテ當業者ハ經濟的ニ見テ一層有利ナル他ノ何物カ栽培ヲ目指シテリ

東京ノ主ナル栽培地方ハ Vinh binh, Spai binh, Nam dinh 等ニシテ其ノ面積約一ヘクタールナリ其ノ山田地方ニ栽培スルモノアルモ特筆ス可キモノ無し 安南ニ於テ前記東京地方ト接壤セル Shan Hoa 其主ナル栽培地ニシテ南安南ニテハ Bin binh, Binh Thuan 等ナリ而シテ其棉花作地

在河内日本總領事館

面積ハ千數百ヘクタールナリ其外交趾支那ノ Bona 地方及老樞ノ湄公河沿谷一帯ニ栽培セル 而シテ其ノ最モ主ナル栽培地方ハ東埔塞ニシテ栽培總面積一萬五千乃至二萬五千ヘクタールト稱セル 其ノ内最モ重要ナル棉花作地ハ Kratie, Komlong Cham ニシテ Phayung, Kantak, Saket 等之ニ重ク此等洪地方ハ湄公河沿谷ニ域外即チ其洪水カ届キ得サル高地ニ位置ス

栽培ニ使用スル土地ハ種々雜多ニシテ例ハ東京山岳地方ニテハ普通ノ畦畑 (Ray) ト稱スヲ使用シ東京南部及 Shan Hoa 地方ニテハ乾燥セル水田ニ又支趾支那ニテハ山ノ手ニ玉蜀黍ト共ニ栽培ス東埔塞及南部老樞テハ湄公河本流及其ノ主流タル Sali Sap 等ノ土床地方 (Cham can) ト稱スニ栽培セル 尚支趾支那南部却火山地帯ニ其ノ栽培ヲ試ミタルモノアルカ一併トシテ地味ハ其ノ栽培ニ至極適者ニ居レトモ不健康地テ土人カ其栽培ノ行ハルニ好ミナト 他ノ方ハニヨリ容易ニ生計ヲ立テ得

在河内日本總領事館

ルトニ依リ此ノ栽培ハ不成績ニ終リシ由ナリ

棉花ハ温帯ナク冷シキ地方ニ腐植物 (Humus) ニ富シク土壤ヲ好ム河川ノ汎濫ヲ責ム沖積土壤及河川ノ流域 (汎濫ノ損害カ及ヒ得又流域) 最モヨク其ノ栽培ニ適ス 前記東京山岳地方 乾燥モ水田ハ此ノ最味ヨリシテ最モ不適者ノ土壤ニ属シ從テ其收穫モ上ラヌハ無理モ毎フン此等土壤ニハ 旋肥スルヨリ外ニ他方無シ 肥料ハ主トシテ窒素肥料ニシテ 其レ Shandhan 及其ニニ地方ニ之ヲ施用シ 椰油ノ残渣ヲ糞ケテ居リ 印及支那棉花ノ種類ハ東京及北支那ニ於テ *Gossypium indicum* *sanu* 又南支那及東支那ニ於テ *Gossypium hirsutum sanu* ニシテ *Gossypium arboreum sanu* ニアリ又支那ニ於テ *Gossypium vitifolium sanu* 等ナリ 其ノ他ノ種類テ外ニモテ早下試植中ニシテ 其ノ栽培額モ多カラズ 收穫亦不明トナリ

在河内日本總領事館

カラス 收穫量モ極少ナリ 之ニ及シ 東京及北支那他地ニ栽培セラル居ル 今ハ其ノ耕地面積モ八九千ヘクタールニ達シ 九千噸乃至一万噸位ノ纖維ヲ 産出シテ居ル 土壤ハ雨季米ノぬノ水田ナリシモカ 乾燥季ニ入り 乾燥ニシテモ ノヲ 特撰トシ 主トシテ土人居住地ノ近傍ニ 棉作スルカ 普通ナリ 即チ上ノ 二米ヲ刈リ取り 其後 土地ヲ入念ニ地ナシシ 土塊ヲヨクワフン ヨク旋肥シ 夫々土壤ヲ「マトル」ハ。即チ「マトル」ノ廣サニ別スル 播種ハ一月中ニ之ヲナス ハラ播キテモ 差支ヘナシニ「サンチ」内ニ「サンチ」位ノ層ヲ置イテ播クトキハ 猶更ヨシ

植附後 生育途ヤノ棉花ハ 存老ノ注意ヲ拂ハサル可ラス 例ハ入念ニ地ナシシルルヨリ 仲ヒ過キタル 樹頭ヲ前カルキ 茅ナリ 花ハ四月末頃ニ咲キ初メ 種囊ハ夫ヨリ一ヶ月後ニ成熟ス 取入レハ毎々行バルカ 米栽培時 亦即チ七月頃迄ニ 全部ノ取入ヲ終了セサル可ラス 種囊ハ全作トシテ之ヲ刈リ取ルモノニシテ 他國ニ輸出スルニ好ク 樹上ニテ中実丈ヲ

在河内日本總領事館

取入ルモニハス 夜、入り種囊カウ種子ヲ取り除ケ盡内ニ之ヲ竹床
 又ハ竹席ノ上ニテ乾燥セシム
 又上ノ方法ハ南安南ニテモ略同様ナリ
 東埔塞ニテ 棉花ハ乾燥季ニ栽培ス保シ之ハ雨季中土地カ他ノ農耕
 ニヨリ占領サレテ居ルカ爲ニテナリ洪水ノ爲棉作地カ尚水ニ浸リ居ルナリ
 故ニ減水カ好ムルヤ否ヤ則テハ、九月迄トモナシ 土人ハ直ニ地ナラシ取カ
 カル土壤ハ泥濘ニテ 糞肥ヲ多ク用ルナリ 故ニ此其栽培ニ識、如都々
 ナリ(湄公河其他河川ノ泥濘、微生動物有様物腐植物糞土
 其他、白土肥料ヲ有ニス、テ有名ナリ) 地ナラシカ終シハ十月ノ末ヨリ
 十一月ノ初メ、ハケテ一晝夜ニ十四時 水ニ浸ラテ 種子ヲハ、「セニメイト」
 ノ隔ニテ一線上ニ播クナリ 而シテ線ト線トノ隔ハ一「メートル」ナリ 棉
 花發育中ハ 草多ク切テ 刈取ル地ナラシトモ 又 雜草ヲ薙リ
 既ニ草ヲ薙ル可ラス 種囊ハ三月朔ニハ成熟スルヲステ 五月一杯ニ全

在河内日本總領事館

部取入レテ行フ 斯クシテ刈取リタル棉花ハ 其ノ俵(種子ツキノマ) Kand
Kandノ工場ニ搬出スルカ又ハ支那輸出商ニ賣却サル
 前記ノ通り印支那棉花栽培ハ 普通乾燥期ニ行ハルカ 晴ニハ余リ
 ノ旱魃ノ爲 又年々ヨリ雨季カ 余リニ早ク 末ニ事アリテ 棉花ノ收穫ハ 損
 害ヲ及ボス事屢々アリ 印支那ノ棉花收穫量カ年々ヨリ多大ノ差異
 ラ生シ 及其、織機カ一八「ミ」ヨリ二四「ミ」以上ニ出テスル者 短少ノ爲 中
 品質カ優良ノ域ニ達シ得ザルハ 概ス斯ク天候ニ禍サルハ 爲ナリ 其ハ
 トテ東京地方ニテハ 前記乾燥季植付ヨリ 以外、方法ハモシ 合棚
 密ノ東京市夫人ハ(主トシテ 安南人) 雨季ニハ 水田ニ米ヲ植付ケルナリ 其ノ
 生活ノ資ヲ得ルニ急ナリナリ 安南人ハ山地棉作ハ之ヲ行ハス 之ヲ「ム
 オン」族(Moon)ニ譲リ居レリ 尤モ東埔塞ハ東京ヨリモ 土地廣ク人ロハ
 其ノ三分ノ一ニ過キサレテ 相当廣大ナル棉作地ノ余裕アリ 其故ハ東埔
 塞ニテハ 乾燥季ニシテ 雨季ニテ 棉花ヲ栽培シ 成熟テアリテヨリ

在河内日本總領事館

赤土性土壤ニ植付ケシハ品質最モ優良ニシテ纖維ノ長サモ二四〇ミリ
 の至ニ九〇ミリニ達ス併シ土人ハ矢張り傳統的ノ乾季栽培法ヲヒリ此ノ雨季
 法ヲ余リ一般化セサルハ遺憾ナリ 將來棉花カ今少ク経済的ニ有利トモ
 ナル 雨乾雨季ノ棉作ニ適スル東埔塞ヲオトスルハ争ハレヌマナリ
 收穫高ハ北安南ノタンゴア栽培試験場ニ於ケル成績ハ一ヘクタールニ付
 三八六キログラムニシテ内纖維一二三キログラム 種子二六三キログラムナリ 東埔塞農
 事局ノ成績ハ雨季栽培テ六三八キログラム内纖維二一八キログラムナリ 同
 ニク東埔塞ニ於テ土人乾季栽培成績ハ纖維一三三キログラムニ達ス右
 ノ通り土人ノ收穫能力ハ平均一三〇の至一三〇キログラムニ至ルニシテ栽培技術
 殊ニハ天恵ノ土壤モアリ將來増額ノ見込充分アルトノ事ナリ 棉花
 種農ノ種ヲト織機トハ分作業ニ至ルニテ土人婦人カ従テス 東埔塞
 ニテハ其ノ主要ナル内職ナリ 土人ハ高價ノ機械ノ採得ハ未ダナク
 カサレ状況ニ在リ 一女職工カ一日十冊百師キ七日カカリテ漸ク六〇キ

在河内日本總領事館

ロムラノ生棉花ノ脱殼作業ヲ終ル位ニ至ラズニ其ノ脱落ハ次ヲ知ル
 ヘキニカモ佛人経営ノ工切ニハ新式脱殼機械カ提供アルトノ事申ス
 迄モナシ
 印支支那ニ棉工業カ創設セシハ余リ古クシテ一八九〇年頃トシテ棉花
 生ノ條ニシヨロシニ在任ノ華僑ノ手ニ依リ輸出セシ店多ク 其後 Kanch
 Kumbhalニ一佛人ノ棉花脱殼工切ト油工切トヲ創設シタルカ其ノ頃ナリ
 此ノ右工切ハ支那人ノ経営ニ移ル
 佛人カ印支支那ヲ多領シテ百モナリ 河内ニ相切種志紡績工場カ佛人
 ヲリ創設セシメリ 次ニ海防ト南定トハ棉ノ工場カ設立セシキ 此レ
 百モナリ 右ニ工場ハ合併セシ 河内ノ人用機 海防及南定ノ人用機
 此レニ東支棉花会社 (Societe Coloniale du Bankin) ヲ設立シ 海防ニ
 万五千錠ト南定ノ万五千錠ト右両工切ノ附屬カ炭灰ノ精製工切ト土人
 用綿糸織布 物及此等ヲ製造シ居ル 西支ニ最近紡績工切ノ設立

在河内日本總領事館

ヲ見たり
高印支支那紡績工業ニ因領産原棉ヲ使用スルノアルモ其
大部令々外に輸入アリ 予綿ノ品質ト其ノ産額カ需要ニ應じ得ルヲカ外
亦輸入理由ノアリ

品目	一九三三	一九三三	一九三三	備考
種子付綿	—	—	—	
脱種綿	三、七三六	三、四七五	四、〇二五	佛印支英印支香港北米各島及他 ヨリ輸入セル日本ヨリ一九三三〇二五 八十五万六千法ヲ輸入セリ
梳綿	一、六二四九	一、七五五九	一、七、七三六	
	七	二五	二四	佛印支及佛印支地ヲ輸入
	一、五	四八	二六	

在河内日本總領事館

屑綿	四〇九	二八六	一七八	佛印支向地及地唐地 運入ヨリ
	四六九	三一五	二一七	
	七七七	一、五〇七	六四七	佛印支向地及地支那香港 印度ヨリ
	一四二	二四〇	一〇五	又日本ヨリ輸入セリ
				(一九三三) 七八〇〇〇キロ
				(一九〇〇) 法
				(一九三三) 二五〇〇〇キロ
				(一九〇〇) 法
				(一九三三) 一〇〇〇キロ
				(一九〇〇) 法
屑糸	—	—	二七七	佛印支及印度ヨリ
	—	—	五八	

在河内日本總領事館

E-1603

一九二五年より一九三三年迄右記品目平均輸入数量は左ノ通り

Coton en laine	—	—	—	五、一二七噸
Fils de coton	—	—	—	三、四七七
Grisins de coton	—	—	—	九、二〇五
Coton en feuille et hydrocotton	—	—	—	七六

最近三ヶ年輸出の概況
右側 数量 単位百担
左側 價格 單位千法

品目	一九三二	一九三三	一九三三	輸出先
種子付綿	一、九三二	一、九三三	一、九三三	支那香港廣東暹羅暹羅等 日本へ輸出(噸)
	六、三〇九	一九一六	六、九七八	
	一、一五二	二、九三三	一、〇〇七	
				一、九三三
				二、〇二五
				三、一七
				一、九三三
				五、五九
				二、四七二
				二、四七二
				二、四七二

在河内日本總領事館

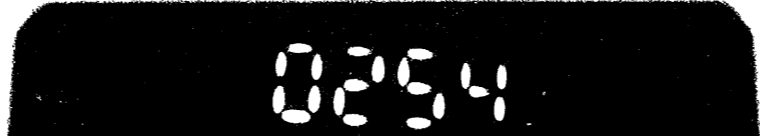
脫種綿

數量	七、一五九	二、八八四	二、五六九	支那(支那)へ輸出(噸)
	三、四七二	一、四一七	一、一六九	支那(支那)へ輸出(噸)
數量	一、四八	一、二四	九	支那(支那)へ輸出(噸)
	四五	三九	一	支那(支那)へ輸出(噸)

系属一九三三年迄に於て佛印及香港日本等へ一ヶ年毎に二万五千担ノ輸出を以てし

右ノ如ク棉花は佛印及日本ノ最小額ヲ以テシ大抵佛印支那香港及日本へ輸出せし。而して輸出は西貢ナリ。綿糸等は支那支那香港へ輸出せし。而して輸出は西貢ナリ。海防ナリ。支那南欽道ニシテ支那支那へ輸出せし。而して輸出は西貢ナリ。裁縫者、棉花ヲ袋ニシテ販賣ス。其ノ單位ハ一担六。此四〇〇ナリ。輸出一切ハ五。〇。ナリ。六。〇。ナリ。六。〇。ナリ。立方ノ単位ニシテ百担ヲ以

在河内日本總領事館



位トス 棉花採中枝ハ百粒ニ在 五仙ナリ

棉織維ノ用途ハ周知ノ如クニテ茲ニ改メテ亦ク必要ナレ 印支支那ニテ前
記キヨ綿業今或ニ於テ綿業綿布ヲ製造ス 一級土民大衆ニ需要多シ中
流處ハ 綿絹交織物ヲ使用ス 又田舎ニテハ 室内工業トシテ 夫カ 原始的ナ
糸織様ノモノヲ使用シ 粗硬ノ 綿製布ヲ作ル 之ハ 主トシテ 山地位ヲ用ニシテ
旅行者カ 異地テ 夫カ 賣仕ケラレル 粗布ハ 則チ之レナリ 其他ニハ「テカ
用」手拭巾、ハ、巾、敷物、合被物、洋服用 綱等々ニ 使用サル 尚
棉花種子ノ 織物ヲ 取除ケタルモノヨリ 油ヲ 製シ 石礫製法ニ 使用スルハ人
ノヨリ 製法ナリ 又棉花種残滓ヨリハ 人造肥料ヲ 製造ス

印支支那棉花栽培ノ 果ナキ 却テ 改善ノ 余地在ニ 植付ノ 時期ヤ
棉作地ニ 果ナキ 兎ニ 南緯地ニ 於テハ 改善ノ 必要ニ 至レテハ 努力力次才ニ 却テ 却テ
實地ニ 行ン テト 思フ 當テハ 米棉 埃棉ヲ 移入シテ 試植セシメ
テ「テカ」ニ 常ノ 大販ニ 換ルルニ 之ハ 此等 外ニ 棉カ 印支支那ニ 合シク

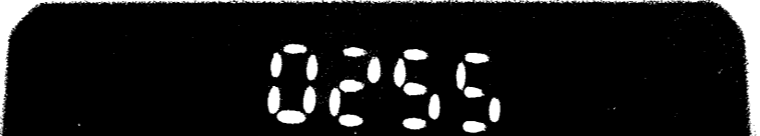
在河内日本總領事館

「テリケート」ナリ 茲ニ 前ヨリ 東京農子 試験所ハ 冬種子 棉ヲ 移
入シテ 試植シ 吾レト 一作トシテ 夫カ 欠乏ノ 成績、見ニ「キ」ニ 其内「三
種」ハ 見込「ル」ニ「シ」ト「ル」ナリ 棉ノ 市場、印支ニ 於テ「五」 爲 尙 東埔塞
綿ハ 抑テ 鑑賞 サレテ 格「ハ」ト「ル」故 東埔塞綿ハ 其ノ 品質上 印支カ
ニ 位ニ「シ」ト「ル」故 得ル「シ」故 一層 東埔塞綿ノ 改善ノ 意ヲ 付「ハ」キ「テ」
「ル」ト「ル」者ノ 見解ナリ
獎勵 施設 増産 施設 等ニ 至シ「テ」ハ「テ」 珈琲 報告「テ」 参考「ル」ナリ
異種ハ 灰ノ 通りナリ

種番	品目	一般税率	最優税率
一四一	種子(棉)	七稅	七稅
〃	精糖(サレモノ)	七稅	七稅
〃	脱種綿	三四・〇	八五
〃	淨糸(ラシモノ)	六八・〇	一七・〇

在河内日本總領事館

E-1603



「	梳綿 精梳モヤモノス、漂白モヤモノ 染色ニシテ	三〇〇、〇〇	八〇、〇〇
「	吸水性綿	五〇〇、〇〇	一四〇、〇〇
「	漂白モヤモノ又ハ染色モヤモノ Winters 綿屑 其他ノ精梳モヤモノ綿屑 漂白モヤモノ 綿屑又ハ染色モヤモノ 綿屑	一六〇、〇〇	四〇、〇〇
「	前記綿ハ加拿大 北米 芬蘭 日本 匈牙利 「レット」 波蘭 「エストリア」ニ対シテ ハ一般終率 西班牙 埃太利 独乙ニハ最低終率ヲ適用ス 尤モ匈牙利、 対シテハ 綿中 染色モヤモノ及 吸水性モヤモノニハ最低終率ヲ適用ス 綿屑ハ波蘭 日本 「レット」 芬蘭 加拿大ニハ一般終率 埃太利 西 班牙 北米 匈牙利 独乙 及 「エストリア」ニハ最低終率ヲ適用ス	綿ト同シ但綿ノ種類ニヨル	

在河内日本總領事館

E-1603



通商局

第一課

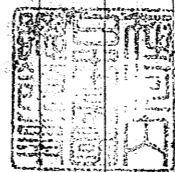
昭和拾年九月拾參日接受

公第三三〇號

昭和十年八月十八日

在河内

總領事 宗村丑生



外務大臣 廣田弘毅 殿

台湾總督府依頼調査事項中、カホフ(カホフ)ニ関スル分寫送付ノ件
台湾總督府依頼調査事項中、カホフ(カホフ)ニ関スル分同府宛直
接回報ニ置キタルニ付、其ノ寫別紙ニ通り、添付送付ス

在河内日本總領事館

手紙
袋封
七回

諸第三七號

昭和十年八月十八日

在河内

總領事 宗村丑生

台湾總督府依頼調査事項 平塚廣義 殿

カホフニ関スル調査回報ノ件

本年五月三十日附地延才四八九号ラニテ仰依頼ノ調査事項中、カ
ホフニ関スル分別紙、連リ回報ス。尚本件ニ関スル補遺送付スル
ヨリ、カホフヘシ

此段申進ス

在河内日本總領事館

E-1603



カホックニ関る洞書

カホック (スドカ) (Kahok) 又は Kankok 倭棉ト稱スハ當印支那
於テハ南方ニ交趾支那柬埔寨又北方ハ東京地方ニ生産スガハ
人工的ニ栽培ス域ニ達ス自然生植ノ放任ス東京地方ニハ土ノ家
ノ周圍「カホック」(寺院)附近又田舎路ノ兩側ニ繁生ス尤モ交趾支那
ニ於テ最近其ノ栽培ニ着手多クナリ

カ樹ハ喬木種ニ属シ泥地ニ非サル限リ如何モ土壤ニモ生植ス東埔
塞ニハ多ク濕氣ノアル硅化粘土 (Silica-argillaceous) 性土壤ニ繁生ス此ノ土
壤ハカ樹ノ成長ニ至極適ス「カホック」氏ニ依リハ「カ」樹ハ九百メートル
ノ至千二百メートルノ高さニ成長ス由テカ 倭綿收穫ノ最も多キハ五
メートルノ上ノ高さニ達スルカトナリ東京ニヨリ見「カ」樹ハ上地ニ由テ
住宅附近ニ在ルカトナリ土人ハ其ノ思ヒキ多ク樹ノ之ニ肥料ヲ施スルカ
トナリカ 放任ノ有様ナリ春ノ初メ頃由樹紅ク花ヲ咲キ 奇華ヲ點景ヲ現

在河内日本總領事館

ハスラニ容カント識別サン

「カ」ハニ種類アリ南方ニハ *Grisebaldia argentea* Sw. C. 北方ニハ *Bom-*
ban malabaricum 也ナリ 真ノカト稱スルハ前者テ「カ」産ト同種ナリ後
者ヨリ生スル「カ」ハ品質多シテ真ノ棉ト云フヲ得ルモ鬼ノ角「カ」ノ
名稱ヲ有ス(此ノ名稱ヲ附スルハ高麗ヨリ試験竹ニテハ及ナリ) 係品價
粗悪ト有る物ヤテ *Bombax malabaricum* 又 *Kajaka* ノ名稱ヲ此ノカトハ東
埔塞ノ優良種ト混淆スル婦ヒアルカト早晩多クハ他名稱ヲ附ス
カカ安當ナリトナリ 夫カト云フカト兩種ハ植物形態上差異点次カ
カス *Grisebaldia* テハ種叢カ下ニ塞カウテ居ルモ *Bombax* ハ之カ内イテ居
ルナリ又前者ハ内方ニ脂体ヲ抱藏シ後者ニハ之カキイトノ邊ヒカアルカ
ナリ 東埔塞「カ」カ黄色ヲ呈シ居ルハ此ノ脂体ノ故ナリ 年有物ハ概ナ
カトナリ

前述ノ通り「カ」ハ交趾支那ノ一部ヲ除キ人工的ニ植仕ラレルモノ只土人カ

在河内日本總領事館

一九一九	三三三〇	三三三〇	一	一
一九二〇	一二七九	一二七九	一	一
一九二一	二〇五	二〇五	一	一
一九二二	六〇五	六〇五	一	一
一九二三	六〇一	二一六七	一	一
一九二四	六〇五	一四三二	一	一
一九二五	二三七	七一	三一八	三一八六
一九二六	二〇五	一三三〇	三七七	四九一〇
一九二七	五〇	三〇二	四十四	六〇三二
一九二八	二六	一三四	三三七	三三七〇
一九二九	一六	一六	七三八	五九〇五

自一九三〇年至一九三四年カカシ輸出 quantity 於一九三五年一七噸 (價格三十万) 一噸カカシ (一九三三) 一五七噸 (價格四百零九) 一噸カカシ (一九三〇)

在河内日本總領事館

一九一八	四八	二四	一	一
一九一七	一七二	九七	一	一
一九一六	一一	六	一	一

種子 胎カカシ
 胎カカシ (噸)
 價格 (千円)
 胎カカシ
 價格

其ノ年代、以テ土地、其ノ收穫量、美果アリ 印支那ニテハ、ハクタル平均二六〇。用カカシノ噸カカシトナリ
 保存ニ三六〇。用カカシノ噸カカシトナリ
 内地ニテハ、六〇。用カカシノ噸カカシトナリ
 即チ一噸カカシニテハ、又輸出ニハ
 種子付一噸カカシニテハ、比弗純
 棉七〇。乃至八〇。比弗見也
 「由一九一五年カカシノ噸カカシノ統計ニテハ、自一九一五年至一九二九年、輸出額ハ、左ノ如シ」

在河内日本總領事館



年(一九三三年)は、百二十噸内外ナリシニ、價格ハ却リテ五百万法郎定納シタリ
主は、輸出先ハ、佛、露、西、ソ、ル、セ、シ、カ、ル、ク、及、和、茶、ニ、テ、佛、信、託、地、支、那、香、港、暹
羅、巴、達、維、亞、半、島、等、ハ、主、ニ、テ、輸出スルナリ
右、種、ノ、實、ハ、少、額、ニ、テ、亦、足、ル、コト、ニ、テ、只、一、九、三、三、年、中、暹、羅、ヨ、リ、一、万、キ、ロ、グ、ラム、
三、万、二、千、七、百、九、十、七、噸、ノ、實、ハ、(一九三四年以前)佛、中、露、カ、等、ノ、輸入、セ、リ、タ、リ、次、ノ、次、
各、耳、其、カ、其、得、意、先、ト、テ、輸出、額、ノ、的、七、割、ヲ、占、ム、ル、コト、ナ、リ、尤、モ、白、米、ハ、之、ヲ、代
ふ、ハ、再、輸出、ス、ル、ナ、リ

用途：種々アルニ、内地用トシテ、ソ、バ、ノ、用、東、埔、塞、(Mau)ノ、有、名、ナ、リ、少、量、
ソ、バ、ノ、中、ニ、入、テ、墨、カ、リ、軟、ク、モ、温、ク、モ、充、分、ナ、リ、使用、シ、テ、収、上、ク、モ、之、ヲ、日、光、ニ、露、
干、ス、ル、ト、ハ、再、ニ、元、通、リ、ク、ス、ル、コト、ナ、リ、此、真、却、リ、真、ノ、棉、ヨ、ク、調、性、カ、モ、知、ル、コト、ナ、リ、又、
ソ、バ、ノ、浮、動、性、ニ、富、ム、ル、ヲ、テ、救命、用、帶、襪、衣、袋、ニ、使用、ス、ル、ナ、リ、此、外
ソ、バ、ノ、用、被、覆、キ、冬、ノ、衣、服、用、ト、シ、テ、使用、セ、ル、コト、ナ、リ、但、シ、テ、モ、ハ、防、指、用、ト、シ、テ、合、キ、使、
立、タ、ス、物、ナ、リ、之、ハ、其、性、質、ニ、テ、脆、弱、ナ、リ、尤、モ、河、内、ノ、モ、リ、ス、ム、博、物、館

在河内日本總領事館

長、ハ、當、リ、ソ、バ、ノ、綿、糸、ヲ、手、テ、ウ、ム、ク、テ、成功、シ、タ、ク、ナ、リ、高、カ、カ、リ、コ、ト、シ、
棉、種、子、油、ヲ、製、成、シ、之、ヲ、石、煉、油、製造、ニ、使用、シ、又、其、油、糖、ハ、肥料、ト、シ、テ、使用、ス、
又、ソ、バ、ノ、樹、其、葉、ハ、暖、房、用、ニ、役、ニ、立、タ、ス、食、料、用、等、包、装、用、木、箱、ヲ、製、成、ス、
此、ハ、便、イ、ル、ソ、バ、ノ、樹、他、ノ、木、ヲ、持、ッ、ル、ニ、比、シ、一、般、ノ、臭、味、フ、コ、ト、ハ、ナ、リ
前、ハ、ソ、バ、ノ、樹、印、支、那、等、ノ、由、産、故、何、ノ、有、様、ナ、リ、東、埔、塞、カ、ハ、其、品質、優
良、ニ、テ、人、工、的、ニ、栽培、カ、レ、テ、出、産、ス、ル、コト、ナ、リ、印、支、那、等、ノ、由、産、栽培、ラ、
ト、シ、テ、ソ、バ、ノ、樹、ノ、種、多、ク、ス、ル、ノ、中、ソ、バ、ノ、樹、種、功、地、性、ト、シ、テ、栽培、セ、ン
ト、ス、ル、コト、ナ、リ、ソ、バ、ノ、樹、種、(Sida Rubra) (黃)、ハ、佛、信、託、地、支、那、
Gidaノ、棉、種、カ、ハ、ソ、バ、ノ、樹、種、(Furany)ノ、種、ニ、テ、其、下、等、性、ハ、高、カ、
ソ、バ、ノ、樹、種、ヲ、移、入、シ、テ、其、成績、ヲ、試、験、中、ナ、リ、
ソ、バ、ノ、樹、種、目、ハ、印、支、那、等、ノ、統計、表、ニ、テ、其、税率、表、ニ、テ、シ、テ、種、一、回、
Sida Vigifera Flammaria ノ、名、合、セ、テ、種、ナ、リ

在河内日本總領事館

（明治三十一年五月五日第三種郵便物認可）

府報

昭和十年九月七日
第二千四百八十七號 土曜日
臺灣總督府

訓令

訓令第七號 臺灣總督府
臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）
昭和十年九月七日
臺灣總督 中川 健藏

第一條 臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）
第二條 臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）
第三條 臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）
第四條 臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）
第五條 臺灣總督府審判廳審判官任命規則（以下略）

府報 第二千四百八十七號 昭和十年九月七日

敍任及辭令

○昭和十年九月六日
臺灣總督府技手 壹島 秀樹
臺灣總督府技手 竹中 平一
臺灣總督府技手 依願免本官
臺灣總督府技手 依願免本官
臺灣總督府技手 依願免本官
臺灣總督府技手 依願免本官

彙報

種別	昭和十年七月末		昭和十年七月末	
	前月末	増減	前月末	増減
銀行預金	1,000,000	△100,000	1,100,000	△100,000
定期預金	500,000	△50,000	550,000	△50,000
活期預金	500,000	△50,000	550,000	△50,000
日本銀行預金	1,000,000	△100,000	1,100,000	△100,000
合算	1,000,000	△100,000	1,100,000	△100,000

○財政及金融
銀行預金類 昭和十年七月末ニ於ケル島内各銀行預金類高左ノ如シ
前月末 増減
銀行預金 1,000,000 △100,000
定期預金 500,000 △50,000
活期預金 500,000 △50,000
日本銀行預金 1,000,000 △100,000
合算 1,000,000 △100,000

○島内各銀行（午前五時観測）
（備考）観測ハ七百種ヲ減シテ値、氣温ハ攝氏、降水量ハ當日午前五時ヨリ翌日午前四時ニ至ルノ總量トス

地名	氣温	風速	湿度	降水
台北	25.2	7.1	77	0.0
台中	25.0	7.0	76	0.0
台南	24.8	6.9	75	0.0
高雄	24.6	6.8	74	0.0
基隆	24.4	6.7	73	0.0
新竹	24.2	6.6	72	0.0
嘉義	24.0	6.5	71	0.0
屏東	23.8	6.4	70	0.0
花蓮	23.6	6.3	69	0.0
台東	23.4	6.2	68	0.0
澎湖	23.2	6.1	67	0.0
金門	23.0	6.0	66	0.0

昭和十年九月七日臺灣日日新聞第二千七百三十三號附録
所ニ於テ遺棄タル裁決ニシテ昭和十年七月
中ニ確定シタルモノ左ノ如シ
姓名 年月日 裁決 受有海賊 被審人
第一一七六 七六 免狀補給 山野真二
九七 七六 免狀補給 山野真二
九八 七六 免狀補給 山野真二

恒春	臺東	花蓮	澎湖	高雄	基隆	阿里山	臺南	嘉義	屏東	彰化	南投	雲林	苗栗	桃園	新竹	苗栗	臺南	嘉義	屏東	彰化	南投	雲林	苗栗	桃園	新竹
54.7	54.2	55.0	54.7	54.8	54.9	58.3	55.6	55.3	54.8	54.6						56.4	56.4	56.9	56.5	56.6	56.3	61.3	57.5	57.0	56.7
23	24	24	26	24	24	11	24	24	25	25						24	24	24	26	25	25	9	25	25	25
32	33	30	31	31	31	18	31	32	33	31						31	33	33	31	31	32	16	32	32	31
29	29	30	29	29	33	17	33	32	29	33						29	29	33	29	33	31	15	29	23	29
靜北	靜南	靜南	靜東	靜東	靜東	靜東	靜東	靜南	靜西	靜北						靜北	靜南	靜東	靜北	靜北	靜北		靜北	靜南	靜西
總1	西3	西3	總1	2	2	2	1	3	5	總1						總1	西1	西1	西1	東1	總1		總1	總1	西1
95	93	87	90	91	94	97	93	95	—	96						96	92	96	94	87	84		97	94	85
快晴	快晴	快晴	曇	晴	晴	薄曇	快晴	曇	快晴	快晴						快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴		快晴	快晴	快晴
2	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

◎墓地改葬公告

昭和十九年九月七日
臺灣總督府
石川縣石川郡安原村下安原（ノ）五拾六番地
共同墓地、今因擴張ヲ要スルニ付、前住吾國條
者、來九月三日迄、石川郡安原村長苑中
出相當指圖可和成、與途申出ナキトキ、ハ無條
填蓋ト看做シ、適宜處置可致旨、石川縣警察部長
ヨリ周知照會セリタリ
昭和十九年九月七日



本信改
東島局
通商局

西子再回
E.Y.O.O.3-22

機密第二〇〇號

昭和十年八月三十日

在バタヴィア
總領事 越田 佐一

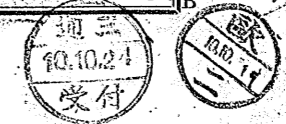
外務大臣 廣田 弘毅 殿

本官發台灣總督府總務長官宛諸官機密第四〇號拙信寫何等御參考
送付ス

(件名) 熱帶産業調査資料ニ關スル件

別紙添附

昭和拾年拾月拾四日接受



別紙添附

寫

外領機密第四〇號

昭和十年八月三十日

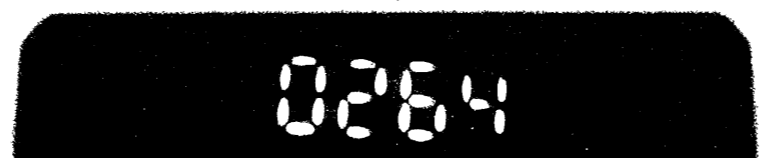
在バタヴィア
總領事 越田 佐一 郎

台灣總督府
總務長官 平塚 廣義 殿

熱帶産業調査資料ニ關スル件

本件ニ關シ七月二十日附總警第一二四號ヲ以テ御申越ノ趣了承仍
テ調査ノ結果別紙ノ通報告申進ス
尙衛生局 (Dienst der Volksgesundheit) ヨリ入手セル同局ノ組織
ニ關スルグラフ式一覽表全二通何等御參考迄ニ別便ヲ以テ送付ス
ルニ付御査閱相成度

E-1603



蘭領印度ニ於ケル醫療施設

目次

第一 醫事制度及醫師療屬ノ現狀	一
一 醫事制度	一
A 衛生局 (Dienst der Volksgesundheit)	一
B 醫師及療屬	七
(一) 醫師	七
(イ) 資格	七
(ロ) 狀況	九
(ハ) 療屬	一
一 產婆	一
二 看護人(婦)	二
C 陸海軍ノ醫療施設	三

一 陸軍醫務局 (Militaire Geneeskundige Dienst)	三
二 海軍	四
第二 醫師療屬養成機關ノ狀況	四
A 醫師	四
(一) 醫科大學	四
(ロ) 蘭領印度醫學校	五
(ハ) 蘭領印度齒科醫學校	六
B 療屬	七
看護人(婦)	七
一 土人	七
二 歐洲人	八
產婆	八
第三 諸外國官公團體立醫療施設ノ狀況	九
(一) Rheinische Missions Gesellschaft	九



□ Basler Missions Gesellschaft	110
□ Salatiga Zending	110
第四邦人經營醫療施設及醫師療屬ノ狀況	111
第五外人	111
第六藥事制度及藥業者ノ狀況	111
A. 藥事制度	111
B. 藥業者ノ狀況	114
第七邦人醫療施設ニ對スル補助ノ必要ノ有無及其方法	115
第八邦人醫療施設ノ有無カ邦人發展ニ及ホス影響	116
第九邦人發展ノ現況ニ鑑ミ相當設備アル醫療機關設置ヲ要スル地方	117

蘭領印度ニ於ケル醫療施設
第一 醫事制度及醫師、療屬ノ現狀
一、醫事制度

A 衛生局 (Dienst der Volksgezondheid)
蘭領印度ニ於ケル醫事制度ノ中心ヲ成スハ衛生局ニシテ衛生局ハ蘭領印度ニ於ケル一般醫務ヲ司ル獨立ノ官廳ナリ
衛生局長ハ同時ニ教育宗教省ノ醫務部長ノ職ヲ兼ネ醫務ニ關シ同長官ノ顧問官タルモノトシ政府ヘノ意見ノ上申ハ同長官ヲ通シテ之ヲ爲ス
衛生局長ハバタヴィアニ在ルモノトシ地方的醫務ハ同局長指導ノ下ニ左ノ官吏之ヲ司ル
(一) 衛生局醫務官及衛生局監督官無キ地方ニ於テハ當該陸軍衛生區ノ最高軍醫官(並其下ニ配セラレタル衛生局醫務官 (Governmentarts) 及其指定シテ衛生局事務ニ當ラシムル醫師)

衛生監督^(B)ハ總督ノ定ムル所ニシテ
爪哇ニハ西部爪哇(西部爪哇州ヲ管轄ス)中部爪哇(中
部爪哇州及ジヨクジャカルタ及スラカルタノ王侯州ヲ包
含ス)及東部爪哇(東部爪哇州、バリ、ロムボックヲ管
轄ス)ノ三區アリ
外領ニ於テハ南スマトラ(パレムバンヲ駐在地トスラム
ボン地方、パレムバン、ジャムビー及ベンクレン州ヲ
管轄ス)バンカ、ピリトシ(ムントクヲ駐在地トスバン
カ錫採掘事業係醫最高級者ガ衛生局監督官代理タルモノ
トス)北スマトラ(メダンヲ駐在地トス管轄、アチエノ
一部、タパヌリ州、スマトラ東海岸州リオウ州)及「蘭
領印度東部」(マカッサルヲ駐在地トシセレベス、マナ
ド、モルツケン、チモール及其屬領地方ヲ管轄ス)ノ監
督^(B)官ノ外コタ・ラジャ(Kota Radja)パダン、ボンチヤ

二

ナ及バンジャル^(マ)アシニ於テ軍醫官衛生局監督官ノ事務ヲ
代行ス(De Hoorden van gewestelijk en plaatselijk bestuur)
□ 地方長官

地方長官ハ其管内ニ在ル醫務及病院設備等ニ關シ直接之ヲ
監督ス特ニ住民ノ衛生状態ニ注目シ必要ニ應シ關係衛生局
監督官又ハ陸軍區軍醫官及地方ノ醫師ト協議シ一般衛生状
態ノ改善ノ爲ニ必要ナル措置ヲ採ルモノトス

□ 右ノ外尙市町等ノ自治團體(Locale raden)ニ本事務ヲ委任ス
ルコトヲ得ヘシ

但シ目下ノ所自身醫務局ヲ有シ衛生局長ノ下ニ行動シ居ル
ハバタヴィア市ノミナリ

四更ニ總督ハ特定人ニ對シ右事務ヲ付委任スル事ヲ得ヘシ
衛生局ノ職務ハ之ヲ大別シテ

一、衛生ニ關スル諸法律規則ノ適用及維持

二、(イ)國民衛生状態ノ調査及改善

三

(四) 傳染病、風土病ノ豫防撲滅
 左ノ補助機關ヲ有ス
 (一) 在バタヴィア衛生試験所
 (二) 牛 試験場 (Landskeopk-inrichting)
 (牛 ノ培養、供給ヲ爲シ種 員ノ養成ニ當ル)
 及之ニ附屬スルバストール研究所 (Institut Pasteur) (狂犬病
 ノ治療、セーラム、ヴァクシンノ培養、コレラ豫防注射ニ關
 スル事務ニ當ル) (兩試験所共ニバンドンニ在リ)
 (三) 歐洲式醫療設備方法ノ維持増進
 一、歐洲式教育ヲ受ケタル醫師、療屬ノ養成
 醫師ノ養成。
 養成機關トシテ
 在バタヴィア醫科大學
 在スラバヤ蘭領印度醫學校
 在スラバヤ齒科醫學校

等アリ
 註、以前バタヴィアニ醫學校 (School tot opleiding van In-
 dische artsen) アリタルモ醫科大學ノ設立ニ關聯シ最近廢校
 セラレタリ
 註、尙以前ハ將來衛生局員タラシムルノ目的ヲ以テ學生ニ
 學費其他ヲ補助スルノ制度アリタルモ近年來之ヲ止メ衛
 生局ハ軍醫局醫官中希望者ヲ採用スルコトナレリ
 療屬ノ養成。
 土人 (Nacht) 看護人 (婦) 及産婆ノ養成ハ主トシテ官營
 病院ニ於テ行ハル。
 歐洲人看護人 (婦) 及産婆ノ養成ハ民間ノ手ニ委ネラル
 衛生局ハ試験制度ニ依リ合格シタルモノニ對シテ免狀ヲ
 下附ス
 三、病院ノ經營設立助長
 衛生局ハ自ラ各種病院ヲ經營スルト共ニ農園等ノ經營スル病



院ト契約シ件數ニ應シ一定ノ金額ヲ交付シテ一般施療ヲ爲サシムルノ制度 (contract-ziekenhuizen) ヲ採ル一方市町等ノ地方自治團體^又ハ民間ノ手ニ依ル病院設備ニ對シ(一)建設ニ當リ指導(二)敷地ノ獲得ニ便宜供與(三)建築及設備ノ爲ニ補助金ノ交付(四)維持ノ爲ニ補助金ノ交付等ノ方針ヲ採リ居レリ

(二)醫藥品ノ監督、有害飲食物品ノ取締

衛生局藥劑部ノ管轄スル所ニシテ藥劑部ハ藥劑師ノ監督ヲ爲シ其藥品ノ適否ヲ検査スルト共ニ官營及補助金下付病院ヘノ藥劑及醫療器具ノ配給ニ當リ且食料品ニ付取締ル

(三)精神病者ノ保護

蘭領印度ニ總計四個ノ官營精神病院 (Buitenzorg, Magelang, Lawang 及 Sabang) 在リ其他十個所ニ一時的保護設備アリ

(四)國營事業關係勞働事務員ノ醫療

衛生局ハ之カ爲ニ係醫ヲ任命ス

(五)施療及助産

薄給官吏及其家族、官吏教員等ノ養成機關ノ學生、細民等ハ無料ニテ治療ヲ受ケ醫藥ノ供給ヲ受クル事ヲ得之カ事務ニ當ルハ主トシテ衛生局ヨリ補助金ヲ受ケル醫師 (civiele geneesheeren) ニシテ之等ハ衛生局醫ニ準シテ衛生局規律ノ下ニ在リ必要ニ應シ囚人ニ治療ヲ施シ且又裁判所ノ請求ニ應シ死體ノ解剖等ヲ爲スノ義務ヲ負フ

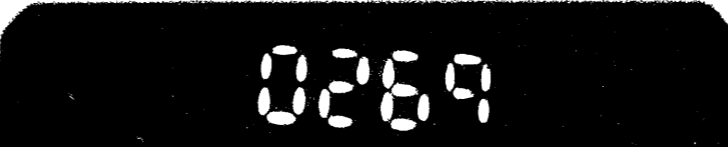
尙場所ニ依リ軍醫局醫及衛生局醫務官 (Gouvernementsartsen) 亦之カ任ニ當ル

此他衛生局ハ諸所ニ局員タル產婆(土人)ヲ置キ或ハ(歐人)產婆ニ件數ニ應シ補助金ヲ交付シテ歐人土人細民ノ無料助産ヲ爲サシム

B 醫師及療屬

(一)醫師(齒科醫ヲ含ム)

(イ)資格 蘭領印度ニ於テ醫師タリ得ルニハ衛生局長ヨリ免許狀 (acte van toelating) ノ下附ヲ受クルヲ要ス



免許狀ハ左ノ者ニ下附セラル

一、和蘭本國ニ於テ醫師タルノ免許狀ヲ有スルモノ

ニ在バタヴィア醫科大學ノ卒業者（和蘭ニ於テ醫科大學卒業者ト同等ノ資格ヲ有ス）

在スラバヤ蘭領印度醫學校卒業者（Indisch arts ト稱

セラレ蘭領印度ニ於ケル醫師トシテハ醫科大學卒業者ト

變ル所無キモ和蘭ノ醫科大學ニ於テハ doctoraal 試験迄

ノ免除ヲ受クル事ヲ得ルノミ）

蘭領印度齒科醫學校卒業者（齒科醫免許狀）

三、外國人醫師ハ在バタヴィア醫科大學ニ於ケル醫師試験ヲ通過スルヲ要ス

例 外

一、外國人醫師ニシテ醫師試験ヲ要セス又ハ一般醫師ニシテ

衛生局長ノ免許狀ヲ要セスシテ醫師ノ業務ヲ營ミ得ルモ

ノハ陸軍醫務局醫 (Officier van Geneeskunde) 及衛生局醫務官

(Gouvernements-arts)

ノ現職ニ在ルモノ及最少限三年間
勤務ヲシタル後不名譽ナル理由ニ依ラスシテ職ヲ去リタル
モノ

三、蘭領印度ニ於テ傳道ニ従事スル團體ノ仕事ヲ爲ス外國人醫

師ハ外國ニ於ケル醫師ノ資格ヲ有スルノミニテ傳道團體活

動区域内ニ於テ土人ニ對シ傳道團體ノ爲ニ醫師ノ業務ヲ行

フコトヲ得

醫師カ業務開始ノ際ハ其地ヲ管轄スル衛生局監督官ニ免許狀又

ハ其他ノ資格證明書類ヲ提示シ之カ査證ヲ受ク

(四) 狀 況

醫師ニハ衛生局員タル Gouvernementsarts タルモノト衛生局

ヨリ補助金ヲ受ケ所謂 civile geneesheer トシテ局員ニ準シテ

行動スルモノアリ或ハ官公、私營ノ病院ニ勤務スルモノ又ハ

自ラ開業シ居ル者等アル處開業醫ニ關シテハ蘭領印度ノ人口

六千萬ニ比スルトキハ其數極メテ少キモ多ク都市ニ集中シ患

者ハ多ク歐洲人上流ノ土人及上層階級ノ支那人ニ限ラレ居ル
爲目下都市ノ開業醫數ハ漸ク飽和状態ニ達シ且ハ刻下ノ經濟
不況ト相俟ツテ一部醫師ニハ經營困難ノ傾向アリ
他方衛生局ハ局醫務官ヲ軍醫局醫務官中ヨリ採用ノ方針ニ出
テ居ル爲新ニ醫師ノ免狀ヲ得ル者ハ自力開業ヲ余儀ナクセラ
ルルコト多ク前記傾向ハ今後益々甚シクナラントスルノ模様
アリ

註一（之カ爲衛生局ハ外國ノ傳道團體ニシテ蘭領印度ニ於テ
醫療ニ從事スルモノヲシテ可成和蘭國民ヲ備ハシムルノ方
針ヲ採リ居レリ）

醫師ノ數ニ關シテハ別添附屬表參照ノコト
註二土人社會ニ於テハ *Dokken* ト稱スル醫術者ノ制アリ其行
爲ニ關シテハ法律上一土人社會特有ノ藥劑ヲ供給シテ所
謂風土病ノ治療ニ從事スル者ハ醫師行爲又ハ藥劑師業ヲ
營ムモノニ非ス一トサレテ全ク自由ニ放置サル

Doekoen ニ從事スルハ多ク婦女ナルモ男子タル場合アリ病
氣ノ治療、助産ヲ爲スノ外祈禱其他迷信的行爲ヲ爲ス事
多シ其ノ藥ハ多ク藥草ヨリ製シタルモノニシテ其治療方
法ハ藥ノ内服又ハ外用等ニ依リ普通外科手術ナルモノヲ
知ラス

註三支那人、土人社會ノ爲ニ *toelang sici* ト稱セラルルモノ
アリ正式ノ齒科醫ノ免狀無ク簡單ナル齒ノ治療ヲ爲スモ
ノニシテ多ク支那人ナリトス
之ニ對シテハ衛生局ハ正式教育ヲ受ケタル齒科醫ノ數少
ク一般土人、支那人等ニ對スル治療ノ手不足ナルカ爲ニ
默認シ居ル形ナリ

ニ療 屬

(一) 產 婆

(イ) 資格 產婆タリ得ル者ハ和蘭ニ於テ其資格ヲ有スル者及
蘭領印度ニ於テ衛生局ニ依リ行ハルル產婆試驗ニ合格シ

タル者ナリ之等ノ者ハ衛生局長ヨリ免狀 (acte van toelating) ヲ受ケ業務開始ノ際ハ之ヲ其地ヲ管轄スル衛生局監督官ニ提示シテ査證ヲ受クルモノトス

(四) 狀況 産婆ハ病院ニ勤務スルアリ或ハ衛生局員トシテ活動スルモノアル一方自ラ開業シ居ルモノアリ開業産婆ニ關シテハ前記醫師ノ狀況ニ關シテ述ヘタルト同シク都市ニ於ケル相互競争激甚ナルモノアリ

産婆ノ數ニ關シテハ別添附屬表參照ノコト

□ 看護人 (婦)

和蘭ニ於テ資格ヲ得タルモノノ外ハ衛生局ノ看護人 (婦) 試驗ニ合格シタルモノナルヲ要ス

土人看護人 (婦) ハ *hant-ri-verpleger (ster)* ト稱セラレ給料ハ官營病院ニ於テ八月二十五盾乃至六十盾トス

歐洲人看護人 (婦) ハ多ク土人看護人 (婦) ノ監督ニ當ル看護人 (婦) ノ種類數ニ關シテハ別添附屬表參照ノコト

C 陸海軍ノ醫療施設

(一) 陸軍醫務局 (*Militaire Geneeskundige Dienst*)

局長 (*inspecteur*) ハ大佐又ハ少將相等官ノ醫師ニシテバン
 ドンヲ駐在地トシ其下ニ軍醫官 (*officier van gezond-
 heid*) 藥劑官 (*Militaire Apotheker*) 及 *Milit. Apothekers-assistent*)
 及獸醫官 (*Militaire paardenarts*) 下リ多ク補助金制度ニ依リ和
 蘭ノ醫大ニテ養成ス (但シ *apothekers-assistenten* ニ關シテ
 ハ其養成ヲ民間ノ手ニ委ネ補助金ノ制無シ)

任官ニ際シテハ陸軍中尉相當官ノ地位ヲ得一般普通人ノ醫
 療ヲモ爲シ得ルハ尉官級ノ軍醫官ニシテ小、中佐級ノ者ハ
 普通人ニ對シテハ單ニ診察ヲ爲シ特殊ノ技術ニ當ル事ヲ得
 ルノミ

軍隊ノ駐劄スル地ニハ到ル處病院設備アリテ婦人患者收容
 ノ設備ヲ有シ文官又當該地ニ普通ノ病院施設無キカ又ハ有
 之モ收容スルコト能ハサル場合ハ軍人ニ非サル普通人ノ患



者ヲモ收容ス

看護人(婦)ニハ軍籍ニ在ルモノト然ラサル普通ノ看護人(婦)トアリ當領ニ於テ資格ヲ得タル者ト和蘭ニ於テ資格ヲ得タルモノトアリ

在チマヒ(Rijmunt)ノ陸軍病院ニ於テハ三年制ニテ看護人(婦)ヲ養成ス試験合格者ハ歐洲ノ *boards-diploma* ヲ受ク局員、病院數ニ關シテハ別添附屬書參照
〔海軍ハスラバヤニ小規模ノ醫務部ヲ有シ海軍部内ノ醫務ニ従事ス〕

第二 醫師療屬養成機關ノ狀況

A 醫師

(一) 醫科大學 (Geneeskundige Hogeschool)

バタヴィアニ在リ

入學資格者 五年制中等學校卒業者

Candidate, Doctoral ノ試験ヲ經テ(此ノ期間五ケ年)後

arts (醫師) 試験ニ至ルモノトス

學生數 (一九三二/三三年度)

總數 三〇九人

新入學者 歐洲人一、土人二六 東洋外國人三一

學費 一年三百盾

卒業者ハ和蘭ニ於テモ醫師タル事ヲ得

〔蘭領印度醫學校 (Nederlandsch-Indische Artsen-School)

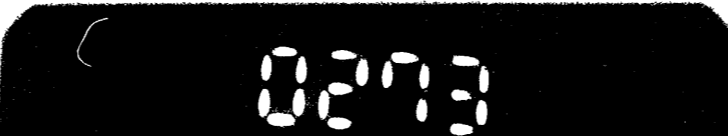
スラバヤニ在リ

七ケ年制ニシテ三年制中學校 (Hoogere Burger School 又ハ上級高

等小學校 (M.T.L.O.) (三年制)ノ卒業者ノ入學シ得ルモノナ

學生數 (一九三二/三三年度)

年級	歐洲人	土人	東洋外國人	計
一	男 五	男 二九	男 一六	五二
	女 一	女 一	女 一	



學費 月十五盾

七	六	五	四	三	二
二	二	二	一	一	一
一	一	一	一	一	一
三	二	三	一	三	三
二	六	八	九	三	九
一	一	二	一	一	一
一	六	二	三	八	〇
一	〇	〇	一	一	一
五	三	五	二	四	四
一	一	五	八	六	九

白蘭領印度齒科醫學校 (School tot opleiding van Indische Tandartsen) スラバヤ

五年制官立學校ニシテM.U.L.O. 卒業生又ハ之ト同格ノモノ入學資格ヲ有ス

學生數 (一九三二、三三年度)

一	二	二	三	一	八	二	一
男	女	男	女	男	女	男	女
歐洲人	土人	東洋外國人	計				

B 療 屬

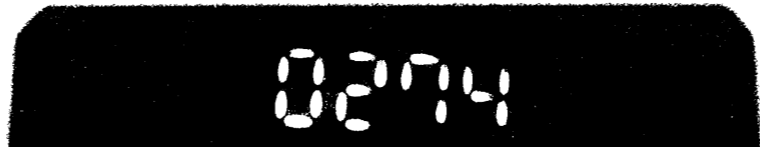
五	四	三	二
一	一	二	一
一	一	一	一
一	二	二	四
一	一	二	一
五	三	四	五
三	三	四	二
一	二	一	一
二	九	四	一

看護人 (婦) (一) 土人看護人 (婦) (Mantri-Verplegers(sters) ノ養成ハ主

トシテバタヴィア、セマラン及スラバヤノ官營中央病院 (Governments Centrale Burgerlijke Ziekenrichting)

ニ於テ行ハル目下各二四、九九〇及二一〇人ノ見習者アリ

尙セーラン、チャンヂョール、ケデイリ、マデイウーシ、モジヨケルト、シンガラージャ、メナド、ゴロン



タロ及タンジヨン・ピナンノ官立病院 (Gouvernements
Burgerlijke Ziekeninrichtingen) ニ目下各六、四、六、
五、四、一三、一二、二及四名ノ見習者アリ
志願者ハ五年制ノ土人小學校ヲ卒業シ年齢十六才ニ達
シタルモノナルヲ要シ三年間教習ノ後試験ヲ經テ免狀
ヲ下附セラル

精神病院ノ看護人(婦)ノ養成ハバイテンゾルグ、マ
ゲラン、ラワン及サパンノ精神病院及在バタヴィア、
ダロゴル保護所ニテ行ハル目下各四八、五二、五四、
二〇及一一名ノ見習者アリ

(口) 歐洲人(看護人「婦」)ノ養成ハ政府ヨリ補助金ヲ受
クル民間ノ病院ニテ行ハル志願者ハ上級高等小學校(M.U.L.O. 三年制)ヲ卒業シタルヲ要ス

免狀ハ衛生局ノ試験ヲ經テ下附セラル

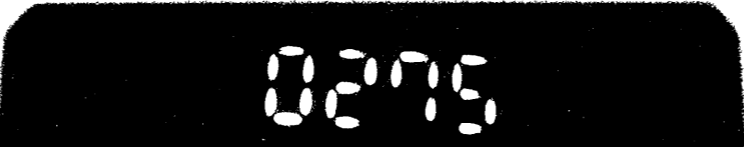
産婆 土人産婆ノ養成ハ右土人看護人(婦)ノ養成所ニ於

テ行ハル即チ看護人(婦) (Mantri-verpleger(sters) ノ免狀
ヲ得タル後更ニ二年ノ教習ヲ受ケ試験ニ合格シテ産婆ノ
免狀ヲ受クルコトヲ得

歐人産婆ノ養成ハ政府ノ補助金ヲ受クル民間ノ病院又ハ
民間ノ學校(印歐人黨 (Indo-Europesch Verbond) ノ經營
スルモノアリ)ニ於テ行ハル、免狀ハ衛生局ノ試験ヲ經
テ下附セラル

第三 諸外國官公團體立醫療施設ノ狀況
此ノ種ニ屬スルモノハ左ノ三傳道團體ナリトス

(一) Rheinische Missions Gesellschaft (本部 Barmen)
タバヌリ州、ヘンクレーン州ノエンガノ島 (Engano) 「ス
マトラ」西海岸州ノメンタウイ諸島 (Mentawai-eilanden) 及ス
マトラ東海岸州シムルンガン。カローランテン (Simoe-
Loengén en de Karolanden) 地方シムルンガン區ニ活動シツツ



アリ歐洲大戰ト共ニ獨逸政府ヨリノ補助金止ミ活動休止ノ
已ム無キニ至ラントセシカ當領教育宗教省ヨリノ補助金ニ
依リ活動ヲ續ケ來レリ
醫者ヲ備ヒ病院ヲ樹テ土人等ノ施療ヲ爲シ居レリ病院設
備ニ對シテハ多ク衛生局ヨリノ補助金ヲ受ケ補助金ヲ受ク
ル病院數十三、患者收容能力四五七名

□ Basler Missions Gesellschaft

本部、瑞西バゼル

一九一九年前掲ライン傳道會ノボルネオ東南部州（サマリ
ンダ區ヲ除ク）ニ於ケル事業ヲ引受ケ蘭印政府ヨリノ補助
金ヲ以テ活動シツツアリ其 Koala Kapoas ニ於ケル病院設
備ニ對シテハ衛生局ヨリノ補助金アリ患者收容能力二十名
III Selatiga Zending 本部、和蘭トロレマド
獨逸ノ Neukirchner Mission ニ起因スル半獨系ノモノニ
シテ中、東部爪哇ニ活動ス經營ニ補助金ノ下附ヲ受クル病
院數五、患者收容能力五四八名

〇〇

第四 邦人經營醫療施設及醫師療屬ノ狀況

當館管内ニ於テハバタヴィアニ於テ Jookang Stgt トシテ齒ノ治
療ヲ業トシテ居ル者三名アリ、一名ハ内地人ニシテ治療設備モ
整ヒ居リバタヴィア在住日本人一般、支那人及和蘭人ノ一部ヲ
顧客トシ相當ナル成績ヲ擧ケツツアル模様他ノ二名ハ台灣籍民
ナリ尙台灣人漢法醫一名アリテ多ク支那人ヲ顧客トス

其他セマランニ邦人 Jookang Stgt アリ

第五 外人經營醫療施設及醫師、療屬ノ狀況

蘭領印度ニ於ケル外人醫師數合計四十八名、詳細不明

第六 藥事制度及藥業者ノ狀況

A 藥事制度

(一) 藥事ハ衛生局藥劑部ノ司ル所ニシテ醫藥分業ノ制ニ依リ醫
藥ノ調合供給ヲ爲シ得ルハ藥劑師 (Apotheker) 及藥劑師
助手 (Apothekers-assistant) ナルモノトス

(但シ藥劑師助手ハ藥劑師又ハ次ニ謂フ醫師ノ監督ノ下ニ

一一一

於テノミ藥局又ハ醫師藥局ニ於テ仕事ヲ爲シ得ルモノトス
藥劑師ナキ地ニ於テハ其地ニ在ル醫師ハ其住居ノ一部ヲ藥
局トシテ調劑ヲ爲ス事ヲ得 (doktersapotheek) 斯クテ藥局ヲ
有スル醫師ハ當該地ニ藥劑師カ開業スルニ至ルモ尙調劑ヲ
爲スノ權能ヲ有ス但シ此ノ權能ハ其地ニ於テ醫師ノ業又ハ
醫藥ノ供給ヲ停止シタルトキヲ以テ終了ス
□藥劑師又ハ藥劑師助手トシテ調劑ヲ爲シ得ルカ爲ニハ衛生
局長ノ免狀 (acte van toelating) ヲ必要トス
免狀ハ

一、和蘭ニ於ケル有資格者

二、當領ニ於ケル試驗合格者

a 目下ハ藥劑師ノ試験制度行ハレ居ラス從テ當領ニ於
テ藥劑師タルニハ和蘭ニ於テ之カ資格ヲ得ルヲ要ス

b 藥劑師助手ノ試験

以前バタヴィアニ二年制ノ官立 Apothekersassistenten-

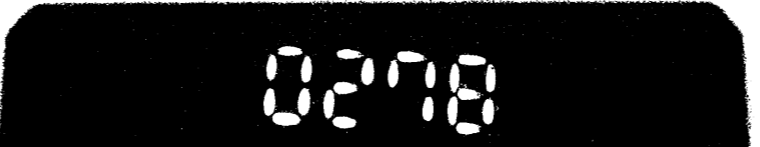
schoolアリ入學ニハ上級高等小學校 (M.U.L.O.) ヲ卒業シタ
ルヲ要ス本校卒業者ハ藥劑師助手試験受験ノ資格ヲ有シ
タルモ本校ハ財政緊縮ノ爲一九三三—三四學年度末ヲ以
テ閉鎖サレ目下藥劑師助手ノ養成ハ專ラ在バタヴィア、
スマラン、スラバヤ等ノ官立病院ノ藥劑師又ハ民間ノ藥
劑師ノ許ニ行ハル、受験ニハ養成藥劑師ノ受験資格證明
ヲ要ス

三、現職ニ在ル軍醫局及衛生局藥劑官及三年以上繼續シテ
勤務シタル後不名譽ナル事由ニ依ラス職ヲ去リタル藥
劑官ニシテ軍醫局長又ハ衛生局長ノ資格證明ヲ有スル
者ハ前二項ニ其ノ資格ヲ有セスシテ藥劑師トシテノ一
般調劑ヲ爲スコトヲ得

藥劑師又ハ藥劑師助手カ實地ノ業務ヲ營ムカ爲ニハ先ツ
其資格證明書類ニ衛生局藥劑部長ノ査證ヲ必要トシ業務
ノ(一時的)停止又ハ業務地ノ變更毎ニ新ニ査證ヲ必要

トス
 藥劑師ハ特別ノ場合ニ付衛生局長ノ許可書ヲ受ケタル外
 ハ其仕事ハ一個ノ藥局ニ限ラルルモノトシ藥局ハ日中常
 ニ出入自由ナルモノトシ夜間ハ當該藥劑師又ハ藥劑師助
 手カ藥局ノ在ル家ニ住ムヘキモノトス
 藥劑師カ藥局ノ在ル家ヲ住居トセサル場合ハ衛生局長ノ
 特別ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外藥局ノ在ル地ニ住ムヲ必
 要トス藥劑師ハ其業ヲ營ム間ハ普通他ノ職ニ就キ又ハ他
 ノ營業ヲ營ムヲ得ス
 藥局 (apothek) ニハ必ラス精密ナル度量計重量計及秤並
 「和蘭藥局方」(Niederländische Pharmacopoea) 及總督ノ指
 定ニ係ル特定ノ藥品ヲ備付置クヲ要ス
 B 藥業者ノ狀況
 藥局 (apothek) ハ醫師ノ處方箋ニ依リ調合ヲ爲スノ外一般藥

品ノ販賣ヲ爲ス者多ク或ハ化粧品、化學藥品、工場用原料品
 醫療器械等ヲ店舗ニ置キ附近ノ需要ヲ満たシ居ルアリ或種ノ
 藥店 (例ハ (Batikamp & Co.) ノ如キニ至リテハ大資本ヲ擁シテ
 數ノ藥劑師及藥劑師助手ヲ置キテ全蘭領印度ニ亘リ活動ス
 藥劑師及藥劑師助手ノ數ニ關シテハ別添附屬表參照
 第七 邦人醫療施設ニ對スル補助ノ必要ノ有無及其方法
 當館管内ニ於ケル邦人醫療施設ハ前述ノ通ナル處殊ニパタヴィ
 アノ内地人經營齒科治療設備ハ在留邦人一般ニ之ヲ利用シ大ニ
 便利ナルモノアリ目下ノ處歐洲人、支那人ノ一部ヲモ顧客トシ
 經營困難ノ模様無ク且其經營者(治療者)ハ公ニ蘭領印度ニ於
 テ齒科醫タルノ免狀ヲ有セサル前述ノ toekang s'igt タルノ性
 質上藥品其他種々ノ制限ヲ受ケ居リ業務ノ擴張ニ困難ナルヘキ
 ニ鑑ミ補助ニ付考慮スル事急務ニ非サルヘキモ將來經費ノ關係
 上經營困難トナルカ如キ場合ニ於テハ或ハ補助スルコト望マシ



カルヘシ

目下當地醫科大學在學中ノ二留學醫ハ曩ニ醫師豫備試験 (arts-examen)ニ合格シ目下醫師試験 (arts-examen)ノ爲折角準備中ナルカ今日迄既ニ四年余リノ勉學ヲ續ケ來リ臨床上ノ經驗ヲ積ミタルニ付若シ醫師免狀ヲ獲得シ開業スル事ヲ得ハ當領在住邦人ノ爲ニ貴重ナル存在ト謂フヘク且今後ハ蘭領印度ニ於ケル邦人ノ醫師養成極メテ困難ナルヘキニ付大ニ右二名ヲ利用スルノ要アルヘシ

第八 邦人醫療施設ノ有無カ邦人發展ニ及ホス影響

一蘭領印度ノ諸都市ニ於テハ歐洲式醫療施設ハ整ヒ居リ邦人醫療施設ハ此ノ方面ニ於ケル邦人ノ發展ニ絶對必要ナルモノニ非ストスルモ或ハ治療代又ハ言葉ノ關係等ヨリ邦人醫師ノ存在スルニ於テハ在留邦人カ安カニ業ヲ勵ミ得ヘシ
ニ殊ニ日本人ノ現ニ多數在留スル又ハ將來其見込アル地方ニ於テハ邦人醫療施設カ邦人發展ノ爲ニ大ナル力トナリ得ヘキコ

ト疑無シ

第九 邦人發展ノ現況ニ鑑ミ相當設備アル醫療機關設置ヲ要スル地方

諸重要都市ニ邦人醫療機關ヲ設置スルノ望マシヤハ勿論ニシテ當館管内ニ於テハ先ツバタヴィアトス^ヤ在留邦人ハ約七百名ニ上リ殊ニ内二百五十名ハ漁夫ニシテ邦人醫療施設ニ依リ受クル便宜ハ大ナルモノアルヘシ

尙セマラン亦邦人數二百五十人ノ多數ニシテ邦人醫療施設ノ存在ヲ極メテ望マシキモノトス

註、當領ニ於ケル外國人ノ手ニ依ル醫術機關ノ開設ハ種々ノ困難アルニ付慎重ナルヲ要ス

當地ハ邦人ノ疾病困難民諸地方ヨリ流浪シ來ル事少カラス其都度總領事館ヨリ貧困者タルノ證明ヲ與ヘテ慈善病院ニ依頼シ治療ヲ受ケシメツツアル義ナルカ之等慈善病院ニ對シ時ニ

若干ノ寄附ヲ爲ス事トセハ今後ノ取扱上便宜ナラント思考ス

二八

E-1603

0280